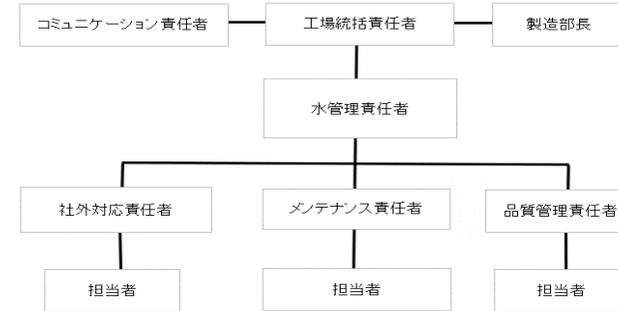


AWSに関する活動2023年 白州工場

● AWS国際規格に関する開示項目

- ※ 1 1.6 集水域で共有する水課題
- ※ 2 2.1 AWSコミットメント [Link](#)
- ※ 3 2.3 WS戦略と明確な計画
- ※ 4 3.5 水に関わる重要地域の状況に関する活動
- ※ 5 3.9 WSのベストプラクティスの取り組み (定量化)
- ※ 6 4.1 WS計画への成果、達成度評価
- ※ 7 5.1 ガバナンス体制の開示
- ※ 8 5.2 WS計画のステークホルダーへの開示
- ※ 9 5.3 WSに関する目標、実績の開示
- ※ 10 5.4 水課題に関するステークホルダーとの取り組み

● 水管理に関するガバナンス体制 ※ 7



● 水課題に関するステークホルダーとの取り組み ※ 10

水課題 ※ 1	区分	目的	目標 ※3、8	利害関係者エンゲージメント	取り組み、成果、達成度評価 ※ 5、6、9
水ガバナンス	ガバナンス	ウォーターシュワードシップの実行	水管理組織体制の構築	水の持続可能性を求める地域社会	ガバナンス体制の開示
環境中への排水	水質	排水水質基準値の順守	定期的な排水水質分析	河川の水質測定と監視を行う行政機関	月1回専門機関による排水水質の分析 基準超過なし
水資源の枯渇	水収支	水使用量の削減	30% 水使用量削減 (2030年までに) (グループ全体目標) 2015年基準	水資源を共有する地域社会	新技術機器導入およびWURプロジェクトによる 水使用量削減 20% 2023年 (グループ全体実績)
水資源の枯渇	水収支	源水持続可能性	源水脆弱性評価の実施	水の持続可能性を求める地域社会	水コンサルタントによる評価 2022年
水資源の枯渇	水収支	サプライヤーへの働きかけ	梱包材サプライヤーに対する、サステナビリティ活動意識の向上	サプライヤー	梱包材サプライヤーに対する説明会を実施
水資源の枯渇	水収支およびIWRA	リプレニッシュ (水源涵養活動)	工場で製品にする水に対して、自然に還元する水源涵養量 200% 水源涵養率の維持 (グループ全体目標)	山梨県、北杜市、森林組合	森林保全活動等による水源涵養機能の向上 411%水源涵養率 2023年 (グループ全体実績)
重要地域の保全 ※ 4	IWRA	獣害防除、森林作業道整備による重要地域の保全 河川清掃による環境保全	県計画に基づいた森林整備 (282.61ha) 隔年環境プログラムの開催 地域社会清掃活動への参加	山梨県、北杜市、森林組合、地域社会	コナラ苗木500本植林 (1ha) 2023年 「森に学ぼう」各約40名参加 2023年 神宮川、尾白川清掃活動 13名参加 2023年
公平かつ適切なWASHサービスの提供	WASH	安全な手洗用水と衛生施設の完備	人員数に応じたWASHサービスの維持	甲府労働基準監督署	人員に応じた衛生的な手洗い設備 水洗式かつ個室型トイレの完備 (100%)

WS (Waterstewardship ウォータースチュワードシップ) : 責任ある水管理

IWRA (Important Water-Related Areas): 水に関わる重要地域

WUR (Water use Ratio): 製品1L製造する際に使用する水